

# 事業実施報告書

法人名 NPO法人あさかプレーパークの会

事業名	乳幼児向けプレーパーク「トカイナカ」事業							
助成事業の種類	SDGs推進事業（自立促進事業）・人間分野							
1. 事業の目的	<p>子どもが、制約なしに思い切り遊ぶ経験を積み重ね、子どもらしく時間をかけて成長できる場を提供する。加えて、親にとっては、人とのつながりの薄い土地での不慣れな子育てで追いつめられることのないよう、子育て支援の場となることを目的とした。</p>							
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<p>転出入が多い地域で、不慣れな土地で子育てをしている若年層住民が多く、子育て仲間を作るための仲立ちが必要。また続くコロナ禍で外遊びのニーズは相変わらず高く、遊び込むためのきっかけ、ツールが必要。コロナ禍以降に第一子を持った親には外遊びを始めるための後押しが必要。</p>							
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>幼児向けのプレーパークを継続して開催した。禁止事項を作らずに済むよう、無用な危険は主催者が事前に避け、絵の具や泥での遊びの際は、汚れてもいい支度を親とともに準備し、子ども達のやりたい気持ちを阻害せずに、遊びに付き合うことができた。</p> <p>月に1度、外遊びへの入り口となる、または屋外だからできるイベントを企画し、事前に告知することで、多くの新規の参加者を得ることができた。</p> <p>最終月に参加者へのアンケートを行い、子育ての状況を把握し、活動についての感想、要望などを知ることができた。スタッフで結果をまとめ、報告集を作成し、今後の活動の周知と資金獲得に活かしていく。</p> <table border="1" data-bbox="475 1626 1356 2004"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 1626 619 1675">時期</th> <th data-bbox="627 1626 1356 1675">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 1686 619 1910">7月</td> <td data-bbox="627 1686 1356 1910">                     1日：熱中症警戒アラート発出のため中止                      8日：イベント「ペットボトルを使って水遊び」参加30組                      15日：雨天中止                      22日：雨天中止                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 1921 619 2004">8月</td> <td data-bbox="627 1921 1356 2004">                     5日：イベント「色水遊び」参加30組                      19日：通常プレーパーク参加20組                 </td> </tr> </tbody> </table>		時期	内容	7月	1日：熱中症警戒アラート発出のため中止 8日：イベント「ペットボトルを使って水遊び」参加30組 15日：雨天中止 22日：雨天中止	8月	5日：イベント「色水遊び」参加30組 19日：通常プレーパーク参加20組
時期	内容							
7月	1日：熱中症警戒アラート発出のため中止 8日：イベント「ペットボトルを使って水遊び」参加30組 15日：雨天中止 22日：雨天中止							
8月	5日：イベント「色水遊び」参加30組 19日：通常プレーパーク参加20組							

	26日：通常プレーパーク参加 15 組
9月	2日：雨天中止 9日：雨天中止 16日：「絵の具で手形足形」参加 25 組
10月	7日：雨天中止 14日：雨天中止 21日：「トカイナカ運動会」参加 60 組 28日：通常プレーパーク参加 40 組
11月	4日：通常プレーパーク参加 65 組 11日：「たき火で焼き芋」参加 50 組 18日：通常プレーパーク参加 50 組 25日：通常プレーパーク参加 40 組
12月	2日：通常プレーパーク参加 25 組 9日：通常プレーパーク参加 35 組 16日：通常プレーパーク参加 40 組 23日：「ピニャータ割り」参加 30 組
1月	6日：「ビニール凧作り」参加 35 組 13日：通常プレーパーク参加 30 組 20日：通常プレーパーク参加 25 組 27日：通常プレーパーク参加 30 組
2月	3日：「豆まき」参加 25 組 10日：積雪予報のため中止 17日：通常プレーパーク参加 30 組 24日：通常プレーパーク参加 40 組 参加者にアンケートを実施。活動のまとめとして報告集を作成。
<p>厳密な受け付けを実施していないため、参加者数は来場の親子の概数。</p> <p>広報実績について 7月、9月、11月、1月にそれ以降の予定を告知するチラシを発行。市内子育て支援センター5ヶ所に配架。SNSで開催告知のほか、天候による中止情報を流した。</p>	

<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<p>イベントの絵の具遊び、夏場の虫捕りなど、親だけでは体験させづらい遊びにここで初めて出会い、子どもが夢中になる姿に親のほうも心底喜ぶ様子があった。またその場に、親ではない大人、特に遊びの専門職プレリーダーがいることで、子ども達は遊びに夢中になりつつ、多様な人との関わりを持つことができた。</p> <p>親が、我が子と1対1の関わりばかりで過ごしていることが、子育てのつらさの大きな要因と思えるが、この事業の中では、我が子と過ごすことを楽しみとでき、また、子どもの世話を周囲の人達と分け合うことができる。子育てで追いつめられる時間を減らせたいと受け取れる。子育て支援の場として成果があったと考える。</p>
<p>5. 費用面での工夫</p>	<p>毎回、消耗品購入など使い道を示した上で、カンパ金を募った。水遊びなどに対応できるよう用意している着替えは、参加者、地域の人にお下がりの提供を呼びかけ、集めた。</p> <p>どちらも、活動を支持、応援していることの表明にもなっている。</p>
<p>6. 地域社会への還元について</p>	<p>市民に愛され、いろいろな世代の人が行き交う朝霞の森という場所に多数の親子が集まり、外遊びが展開されることで、子育ての姿が市民の目につき、多様な関わりが生まれていた。子育てを終えた住民、子どもを持たない住民でも子どもと関われる場となっている。</p> <p>また、平日の開催であることで、不登校の子どもを受け皿にもなれた。</p>
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか</p>	<p>2人目、3人目の子を連れて続けて参加する人達、子どもの入園後、親だけで遊びに来る人達、スタッフとなる人達がいること、また、幼児期をここで過ごした子が小学生、中学生になってもプレーパークに来続け、自然と幼児の遊び相手になってくれるなど、活動を継続することで、地域に人のつながりが生まれていることが、主催者だけでなく参加者達にも見えるものになっている。地域のセイフティネットが小さいながらもできていることを感じた。</p> <p>幼稚園の情報交換がしたいなど、参加者の側からこの場の活用のアイデアも出ている。日常的なものとして継続することで、参加者を主体として巻き込みながら、地域住民の活動として根付かせ、市内他地域にも広げたい。また資金面の心配がなくなるよう、行政の委託事業を目指す。</p>